

## 気仙沼津谷大沢地区レポートその6

10月30日、10月15日と22日の話し合いの結果を踏まえて、第1回津谷大沢区震災復興会議を開催した。

今日は、正式に震災復興会議がスタートするものであり、顧問や参与を含め総勢37名、これまで大沢区に貢献した方やこれからの大沢区を担っていく若い人や女性（7名）が進められる。

まずは、本吉地域と津谷大沢区の被災状況を確認、本吉地域で死者75人、行方不明者68人、被災家屋数3,580（全体の31.2%）、一部を除きライフラインはほぼ確保、小型漁船780隻流出。

津谷大沢区では死者1名、被災家屋38世帯、浸水面積15ha、流出45隻、損壊14隻、船引揚機・集荷場流出、被災農地田2.6ha、畑2.4ha、ライフラインは一部を除き復旧、不動尊・磐午天王碑・琴平石碑・弁財天石祠流出、大沢生活改善センター流出、JR気仙沼線・国道45号大沢橋付近一部決壊・市道2か所・大沢橋崩落・・・。

ここは半農半漁だが、漁業への打撃が大きく、回復だけでなく新たな展開を含めて再生していく必要がある。

被災状況を確認しながら、海岸沿いの対策と土地利用、地形を生かして安全安心な基盤づくりなど、これからの計画の方向性などを話し合い復興の目標や計画の柱についてアンケートを実施することとした。

アンケートでは、気仙沼市震災復興計画を参考に大沢区の考えだけでなく必要性、優先順位を示していただくこととしました。さらに、復興テーマについての案を募集することとしました。